



令和 6 年 高石市

二十歳のつどい

夢に向かって突き進め。

問合先 社会教育課 ☎(275) 6437

1月8日、アプラたかいしで二十歳の集いが開催され、454人が参加。会場では、旧友との再会に喜ぶ姿や写真撮影をする様子が見られました。畑中市長は「今日は友人や家族のお祝いを受け止めて、その後に能登半島地震の被災地に心を寄せて、大人として何をすべきかを考えてください」と激励。式の最後には恩師からのお祝いメッセージが流れ、会場は笑顔に包まれました。



なりたい自分へ
考え歩み続ける



取石中学校区代表
西田 風沙さん
なぎさ

何かと急かされるこの時代。自分を見失わないためには、すべきことよりも先に、したいことを考えることだと思います。自分のために何をしたいのか。したいことのために今何をすべきなのか。考え歩み続け、なりたい自分を作っていききたいです。

誓いの言葉

(一部抜粋)

夢や目標に向かい
成長していきたい



高石中学校区代表
山本 魁さん
かい

これから先、たくさんの困難があるでしょう。その困難を自分の力だけではなく、周りの人の力も借りながら、どんな時も自分らしさを見失わず、持っている夢や目標に向かって進めるよう今を大事に努力し、成長していきたいです。

高石市が好きだから、 必ずここで **夢** を叶える。

高南中学校校区代表

あやの
古川 綾乃 さん



20 歳を迎えた高石市の **NEXT Generation** に迫る



模擬授業の様子

夢があるから努力できる

私は小学校の先生をめざしています。きっかけは、小さい頃から人前に立つことが好きで、こどものことも大好きだったの
で、いつか教壇に立ってみたい
という憧れからでした。しかし、
大学2年生となり、先生になる
ための授業を受ける中で、仕事
の大変さを肌で感じています。
特に苦勞しているのが、教育実
習に向けて取り組んでいる模擬
授業。45分の授業のために、何
倍も時間をかけて準備する大変
さを実感すると、学生時代の先
生に居眠りしてしまった事を謝
りたいです(笑)。生徒に興味を
持ってもらうために、試行錯誤
しながらオリジナルの授業を作
ることがこんなに大変だったと
は知りませんでした。

でも、苦しい経験を積めるのは今
しかないと思って、一緒に先生をめ
ざしている仲間と切磋琢磨しながら
夢に向かって頑張ります。



人が温かい大好きなふるさと。 だからこそ、この町で先生に。

先生になりたいと思った理由はも
う1つあります。それは高石市のこ
とが大好きだからです。小学生の頃、
いつも交差点のところで声をかけて
くれていた見守りのおじいちゃん
が、高校受験に合格した時に「おめ
でとう。大きくなったな」と声をか
けてくれたんです。人と人の距離が
近い、みんなが知り合いみたいな感
覚が高石市にはあります。だからこ
そ、将来このまちで先生として働き
たいという思いになりました。

私と同じように「高石市が大好き
だ」とこどもたちに思ってもらえる
よう、私も素敵な大人(先生)にな
りたいです。

家族に伝える

「ありがとう」の気持ち

お父さん、お母さんへ

20年間育ててくれてありが
とう。二人のおかげで無事に
二十歳を迎えることができま
した。楽しい時も、苦しい時
もどんな時でもそばで優しく
見守ってくれて、私の一番の
味方でいてくれて本当にあり
がとう。私は、明るくて面白
い家族が大好きです。ずっと
ずっと仲のいい家族でいよう
ね！これからも迷惑かけると
思うけど頑張るので温かく見
守っててください。よろし
くお願いします。

